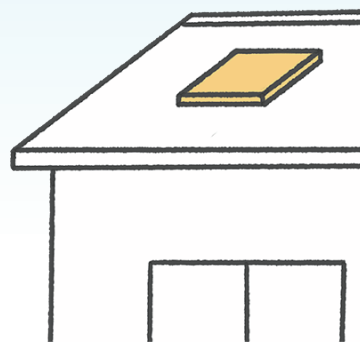


8 天窓 (トップライト)

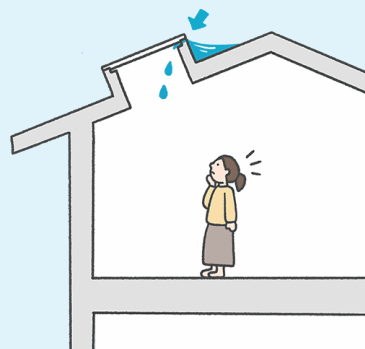


天窓（トップライト）からの雨漏り

天窓と屋根部材の間にすき間ができて、雨水が浸入することがあります。

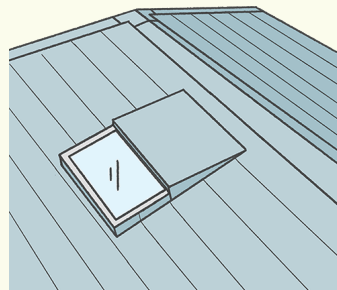
また、天窓が勾配屋根の雨水の流れをせき止めてしまうと、溜まった雨水が建物内に浸入することがあります。

煙突や装飾物など、屋根から突出した構造物も同様のリスクがあります。



雨漏りリスク低減のアイデア

- 💡 天窓は既製品を選び、天窓と周辺部位との取合い部の防水対策については、住宅事業者を確認する。
- 💡 天窓が雨水をせき止める状態になっていないか確認する。
- 💡 既製品でない天窓の場合は、住宅事業者にも既製品への変更や設置実績等を確認して判断する。



住み始めてからは—

雨どいやバルコニー等の排水口は、落ち葉や泥等で詰まること
があるため、定期的に確認が必要です。

屋根や天窓の回りも、目視できる範囲は落ち葉等が溜まってい
ないかチェックしましょう。

ただし、屋根に上らなければならない場合や、チェックが必要
な場所が高い位置にある場合は危険が伴います。

無理をせず、新築時の住宅事業者に相談しましょう。

